

英準2級面接

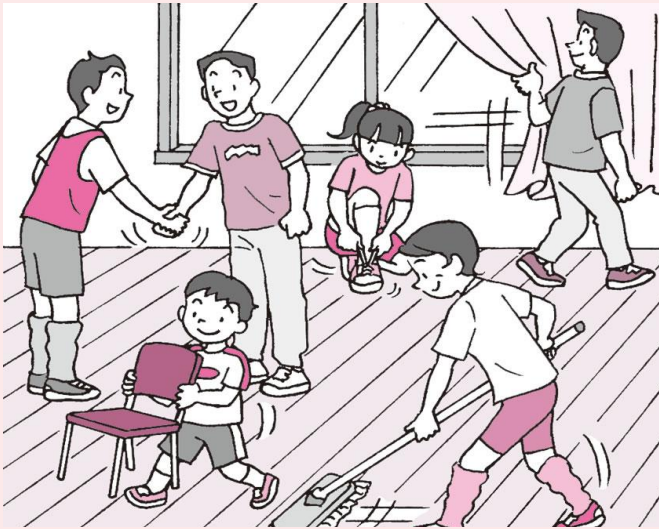
★ 合格のコツ

サンプル問題

面接では、パッセージ(英文)とイラストが印刷された「問題カード」が渡されます。例を見てみましょう。

Aerobics with Japanese Drums

Recently, people have started doing a new exercise. It is a combination of Japanese drums, wadaiko, and aerobics. People move around the drums and exercise by beating them. It also offers the chance to learn Japanese culture. This exercise is both healthy and interesting, so it is getting more and more popular.



No. 1 パッセージについての質問

According to the passage, why is the new exercise getting more and more popular?

解答例: (Because) it is both healthy and interesting.

No. 2 イラストについての質問

Now, please look at the people in Picture A. They are doing different things. Tell me as much as you can about what they are doing.

解答例: A woman is cleaning the floor. / A boy is carrying a chair. / Two men are shaking hands. / A girl is putting on shoes. / A man is opening the curtain.

No. 3 イラストについての質問

Now, look at the boy in Picture B. Please describe the situation.

解答例: He wants to buy a drink (from the vending machine), but he doesn't have any coins.

No. 4 受験者自身の意見などを問う質問

Do you think people should exercise every day?

解答例: (Yes. と答えた場合: Why?) It is important for people to try to be healthy all the time. It is often said that people need more exercise today.

No. 5 受験者自身の意見などを問う質問

Today, many towns in Japan have large shopping malls. Do you like to go shopping at these malls?

解答例: (Yes. と答えた場合: Why?) I can buy many different things at one place. When I am tired from shopping, I can eat there, too.

面接の流れ

1. **入室** 受付を済ませたら控え室で待機します。「面接カード」を渡されるので、氏名・個人番号などを記入しましょう。係員に面接室前へ案内される際は、荷物をすべて持って移動します。自分の番がきたら係員の指示に従い、May I come in? などと挨拶して入室しましょう。

ポイント

受付からここまでは日本語で案内されます。ノックしたあとはドアを開け、Hello. などと挨拶して入室しましょう。

2. **「面接カード」を渡す** 面接委員とのやりとりは、すべて英語で行われます。「面接カード」を渡すよう指示されるので、Here you are. と言って差し出しましょう。

ポイント

控え室で記入した「面接カード」を、面接委員に渡します。Can I have your card, please? (あなたのカードをいただけますか)などと言われるので、Here you are. (どうぞ)と答えて差し出しましょう。

3. **着席** 面接委員の指示に従って着席します。荷物は自分の席の脇に置きましょう。

ポイント

Please sit down. (座ってください)などと着席を促されるので、Thank you. と答えて座りましょう。何も言わずに座ったり、うつむいたままでアイコンタクトを取らなかったりすると、「コミュニケーションの意欲がない」と思われてしまうので気をつけてください。手荷物は、隣に空いた椅子があればその上に、なければ自分の足元に置きましょう。

4. **氏名・級の確認、挨拶** 面接委員に名前を尋ねられます。My name is ... と明瞭に答えましょう。そのあと、準2級のテストであることを確認されます。それから簡単な挨拶も交わされます。

ポイント

面接委員が What's your name, please? (あなたの名前を教えてください)などと聞いてくるので、My name is ... と答えましょう。受験級を確認する質問もされます。This is the Grade Pre-2 test, OK? (これは準2級のテストです。いいですか)などと尋ねられるので、OK. と返事をしましょう。How are you today? など、簡単な挨拶もされるので、はきはきと I'm fine. と返しましょう。

5. **「問題カード」を受け取る** パッセージとイラストが印刷された「問題カード」を、面接委員から渡されます。

ポイント

面接委員が Let's start the test. (テストを始めましょう)などと言ったら、挨拶タイムは終了です。パッセージとイラストが印刷された「問題カード」を、This is your card. (これがあなたのカードです)と渡されるので、Thank you. と答えて受け取りましょう。

6. **パッセージの黙読(20秒)** 面接委員の指示に従って、パッセージを黙読します。

ポイント

最初に課されるのは、「問題カード」に印刷されたパッセージを、20秒間で黙読することです。Please read the passage silently for 20 seconds. (20秒でパッセージを黙読してください)などと言われるので、All right. と返事をして黙読に取りかかりましょう。

英文の量は50語程度です。文の構造をじっくり考えたり、「この単語の意味、何だっけ」などと悩んだりしていると時間が足りなくなります。まずはタイトルに注目して、パッセージの大意を把握し、そのあと本文に目を通します。主語とそれに対応する述語に注意しながら、目を止めずに読み進めましょう。音読する際にポーズを置くべき、ピリオドやコンマの位置を確認することも大事です。

7. **パッセージの音読** 面接委員の指示に従い、パッセージの音読を始めます。時間制限はありません。

ポイント

次に、パッセージの音読が求められます。Now, please read the passage aloud. (では、声に出してパッセージを読んでください)などと言われるので、OK. と返事をしてタイトルから読み始めましょう。

大事なことは棒読みにならないよう、抑揚や強弱をつけることです。パッセージの英文のほとんどは平叙文なので、文末は下降調で読みましょう。内容的に重要な情報を含む語は、やや強く読み上げます。class や lunch など日本語にもなっている単語が出てきた場合は、アクセントをつけるなど、英語らしく発音するよう気をつけましょう。知らない単語があっても、止まってしまったり、飛ばして読んだりするのはよくありません。スペルから発音を類推して堂々と読み切りましょう。

8. **パッセージについての質問(No. 1)** 音読したパッセージの内容について質問されます。「問題カード」を見ながら解答できます。

ポイント

パッセージの内容についての質問は、Why か How で始まる質問がほとんどです。質問の最初に According to the passage (パッセージによると)と言われるのは毎回同じなので、それに続く疑問詞を注意して聞き取りましょう。Why ...? の形の質問をされたら、「理由」を述べた箇所が答えになります。接続詞 so があれば、その前の部分に注目しましょう。How ...? と聞かれたら、パッセージ中から「方法」が述べられた箇所をさがします。by doing so や in this way などの表現を手がかりにするとよいでしょう。

答えにあたる箇所は、パッセージの後半にあることが多いです。面接委員が発する質問をよく聞いて、同じ語句が含まれる部分を探すようにしましょう。見つけたら、その箇所をそのまま読み上げるのではなく、主語を代名詞に置き換える、不要な語を除くなどして、正しい文を作成して解答することがポイントです。Why ...? の質問に対しては Because などを、How ...? に対しては By doing などを文頭につけるとよいでしょう。

9. **イラストについての質問(No. 2)** 「問題カード」のイラスト A にかかれた人たちの行動を描写するよう求められます。

ポイント

No. 2は、「問題カード」に印刷された2点のイラストのうち、Aの方を見て、かかっている人たちの行動を描写するという課題です。5人(5組)の人物がかかっていることが多いので、5つの動作すべてに対して1文ずつ、全部で5文言えるようがんばりましょう。

ポイントの1つめは主語です。A woman、Two boys など、1人の場合は冠詞をつけること、複数人の場合は複数形にすることを忘れないようにしましょう。man、womanの複数形 men、women は発音も要注意です。2つめのポイントは、現在進行形を使うことです。主語が単数ならば、A woman is cleaning the floor. と is doing を、複数なら Two men are shaking hands. と are doing にするよう気をつけましょう。

様々な動作がかかっているので、「こんな単語知らない、思い出せない」と焦ってしまうかもしれません。そういう場合は、別の単語で言い表せないか、知恵を絞りましょう。例えば A boy is carrying a chair. (男の子が椅子を運んでいます)と言いたいのに carry(運ぶ)が思い出せない場合は、A boy is walking with a chair. (男の子が椅子を手を歩いて歩いています)と言う手もあります。あきらめず、黙り込んでしまわず、何らかの英文を文末まで言い切るようがんばりましょう。

10. **イラストについての質問(No. 3)** 「問題カード」のイラスト B にかかれた人物の状況を説明するよう求められます。

ポイント

No. 3は、「問題カード」に印刷された2点のイラストのうちBの方を見て、かかっている人物の状況を説明するという課題です。Bのイラストには多くの場合、人物とその人が思っていることなどを示す吹き出しがかかれています。その人物がしていることを表す英文と、その人物が考えていることを表す英文を作り、その2文を適切な接続詞でつなぐことがポイントとなります。例えば、He wants to buy a drink, but he doesn't have any money.

イラストに複数の人物がえがかれていることもあります。その場合は、どの人物についての質問なのか、注意して聞き取る必要があります。そしてその人がどんな状況にあるのかについての文と、どうしてその状況になっているのかを理由を表す文を作り、適切な接続詞でつなぎましょう

役立つのは、接続詞の知識です。because(...なので)、so(それで)、and(そして、そのため)、but(しかし)などを覚えておきましょう。

11. **「問題カード」を裏返す** No. 3の質問が終わったら、面接委員から、「問題カード」を裏返して机の上に置くよう指示されます。Please turn the card over. とされるので、落ち着いて従いましょう。

12. **受験者自身の意見などを問う質問 (No. 4)** 「問題カード」のトピックと関連した内容の、受験者自身の意見を問う質問がされます。

ポイント

No. 4では、「問題カード」の話題と関連性のある内容について、受験者自身の意見を尋ねられます。多くは、Do you think ...? という形の質問です。Yes. と答えると Why? 、No. と返事すると Why not? と、そう思う理由を聞かれます。2文程度で根拠を説明するようにしましょう。

自分の意見を表すには、I think という表現が定番です。また、It is important (for A) to do という表現を使えば、「(Aにとって)...することは重要です」と言えます。この言い回しは important を、例えば dangerous に換えると「(Aにとって)...することは危険です」となるなど、形容詞を入れ換えることで様々な応用できる便利な表現です。また、理由を2つ述べるときは、2つめの理由について話す文の頭に Also を付けるとよいでしょう。答えは、YES・NOどちらでも、まったく構いません。あなたが答えやすい方で答えてください。

13. **受験者自身の意見などを問う質問 (No. 5)** 日常生活の身近な事柄について、受験者自身の意見を問う質問です。「問題カード」のトピックに直接関連しない内容も含まれます。

ポイント

No. 5でも、受験者自身の意見を問われます。まず There are ... や These days, ... などの表現で、前提となる事柄が語られ、次にそれについて、Do you ...? や Are you ...? の形で受験者自身の意見や好み、行動などを聞かれるケースが多くなっています。2文程度で返事できるとよいでしょう。

注意したいのは、「問題カード」の話題とは関連性が全くない内容についての質問が多い点です。前提となる事柄が述べられる部分と、それに続く質問の両方を、先入観を持たずに集中して聞くようにしましょう。I think に加え、I like や I often do などの表現を知っておくと、意見や好み、行動を言い表すのに便利です。

14. **「問題カード」を面接委員に返す** 面接委員から、「問題カード」を返すよう言われます。

ポイント

面接委員に This is the end of the test. などと言われたら試験終了です。May I have your card back, please? (カードを返してくださいますか) などと言われるので、Here you are. と言って「問題カード」を渡しましょう。

15. **退室** 挨拶をして退室します。退室後は他の受験者と話したり、控え室に戻ったりすることはできません。

ポイント

面接委員に You may go now. (行っていいですよ) と言われたら、Thank you. Goodbye. などと挨拶して退室します。

退室時は、忘れ物をしないよう注意しましょう。退室後は、他の受験者と話をしたり、控え室に戻ったりすることはできません。

アティチュード

英検3級の二次試験では、アティチュード(態度・姿勢)も評価対象となっています。具体的にいうと、発声の明瞭さや反応の自然さ、積極性なども採点されるという意味です。ですから、積極的にコミュニケーションしようとする姿勢を見せ、相手に聞き取りやすいよう、大きな声ではきはきと話しましょう。入室から退室までの態度のすべてが評価されるので、無言で勝手に席に着いたり、目も見ずボソボソ答えたりなどはしないよう気をつけましょう。質問をされたら、「完璧に答えなくては！」と悩んで不自然な間をあけるより、Well, ... などと言って会話をつなぐ方が好印象です。

いちばんいけないのは、黙ってしまうことです。英語を話すスキルは未熟でも、知っている単語や文法を活用して自分の意志を伝えようとする姿勢があれば、アティチュードの評価はプラスになります。文法などでミスをしたとしても、明快地 Excuse me. と行って仕切りなおせば大丈夫です。とにかく避けたいのは、「失敗した...」と諦めて投げやりになったり、発音の悪さや苦手意識をごまかそうとしてモゴモゴと不明瞭にしゃべったりすることです。

シチュエーション別

★ Pardon? (何ですって?)

面接委員の言ったことが聞き取れなかった場合は、聞き返しても大丈夫です。Pardon? や Pardon me? と行って、もう一度言ってもらうようにしましょう。Excuse me? や Sorry? という手もあります。これらの表現は、相手の発話のすぐあとで使うべき表現なので、聞き取れなかった場合はすぐにこう言うようにしましょう。間が空いてから Pardon? では不自然に聞こえ、減点の対象になります。

また、度が過ぎる聞き返しはNGです。反応が不自然だということでアティチュードに響きますし、「この受験者はリスニング力が低いのだ」と判断されて、次の質問へ進められてしまうかもしれません。

★ Well... (ええと...)

ちょっと考えてから答えたいときは、Well, ... と行って考え中であることを伝えましょう。Let's see. や Let me see. など使えます。Hmm. と言ったり、質問中のキーワードをゆっくり繰り返したりするという手もあります。無言で考え込むことだけは避けましょう。「聞き取れないのだな」と誤解され、最悪の場合、次の質問へ進められてしまいます。

★ Could you say that again? (もう一度言っていただけますか?)

面接委員の言ったことが聞き取れなかった場合は、聞き返しても大丈夫です。Pardon? や Pardon me? と行って、もう一度言ってもらうようにしましょう。Excuse me? や Sorry? という手もあります。これらの表現は、相手の発話のすぐあとで使うべき表現なので、聞き取れなかった場合はすぐにこう言うようにしましょう。間が空いてから Pardon? では不自然に聞こえ、減点の対象になります。

また、度が過ぎる聞き返しはNGです。反応が不自然だということでアティチュードに響きますし、「この受験者はリスニング力が低いのだ」と判断されて、次の質問へ進められてしまうかもしれません。

QRコードを読み取ると、英検準2級の動画が見られます。

